

## 西東京市における多文化共生推進指針策定に向けたヒアリング調査概要（案）

### 調査の目的

---

アンケート調査では把握しきれない、市内に住む外国籍の子どもの実態やニーズを把握する

### 対象者

---

- ①子ども日本語教室のOB及びOG（生徒に教えている人、人口が多い国籍の人中心に）…3人程度
- ②子ども日本語教室（小学部・中学部）、日本語ボランティア教室のスタッフ…各4人程度
- ③日本語適応指導員（小学生に教えている人、中学生に教えている人）…各4人程度
- ④市内小学校及び中学校の副校長（東伏見小、中原小、住吉小、栄小、ひばりが丘中、田無三中、田無四中）…各1人

### 実施方法

---

多文化共生センターや関係各課を通して対象者を決定し、聞き取りを行う

- ①は個別に聞き取り
- ②は小学部・中学部・ボランティア教室に分けてグループで聞き取り
- ③は対象（小学生・中学生）ごとに分けてグループで聞き取り
- ④は全員同時にグループで聞き取り

西東京市における多文化共生推進指針策定に向けたヒアリング調査

①子ども日本語教室のOB及びOG

問	項目	設問意図	回答欄
1-1	日本語が上達したこと以外で、当時、子ども日本語教室に通っていてよかったと思うことについて教えてください。	日本語能力の向上以外の、子ども日本語教室の役割の把握	
1-2	当時、日本語を身につけたことで起こった暮らしの中での変化について教えてください。 (例:将来の夢、保護者との関係)	日本語を学んで得られたことや精神的な影響の把握	
1-3	現在のご自身が思う、日本語を身につけたことでよかったことを教えてください。	日本語を学んで得られたことや精神的な影響の把握	
1-4	当時、学校生活のことで、困っていたことや不安に思っていたことについて教えてください。 (例:受験、学校の試験)	日本での学校生活について、壁と感じていることの把握	
1-5	当時、学校生活以外のことで、困っていたことや不安に思っていたことについて教えてください。	日本での暮らしについて、壁と感じていることの把握	
1-6	当時、子ども日本語教室に通っていて、大変だったことや困ったことについて教えてください。 (例:モチベーション)	子ども日本語教室について、壁と感じていたことの把握	
1-7	当時、病院の付き添いなど家族の用事で通訳するために学校を休むことはありましたか。	ヤングケアラーに該当することがあったのか把握	
1-8	【1-7に該当する場合】学校を休むことで大変だったことがあれば教えてください。	ヤングケアラーに該当する場合の子どもに与える影響について把握	
1-9	当時のご自身を振り返って、今、外国人の子どもや保護者へ必要だと思うサポートについて教えてください。	外国籍市民の支援のため、必要と思う取組等のアイデアを出してもらう	
1-8	日本人と外国人が協力して住みやすいまちにするために、何か意見があれば聞かせてください。	自由意見	

西東京市における多文化共生推進指針策定に向けたヒアリング調査

②子ども日本語教室のスタッフ

問	項目	設問意図	回答欄
2-1	子ども日本語教室のスタッフとして、現在活動をされていますが、活動しようと思ったきっかけは何ですか。 (入門講座受講生:講座を受講しようと思った理由は何ですか。)	日本語教室のスタッフとなる動機の把握	
2-2	子ども日本語教室は、通っている子どもにとって様々な役割があると思います。あなたがこれまで活動してきた経験を通して、日本語教室に求められている役割は何だと思えますか。	日本語教室について、従来の認識以外に活動するスタッフが感じる役割の把握	
2-3	子ども日本語教室で教えている時間以外に、子どもや保護者への対応のために具体的に動いたことはありますか。 【該当あり:どのようなことに対応したか可能な範囲で教えてください。】	日本語教室は生徒だけでなく、保護者の相談に応じていることも考えられるため、実態の把握	
2-4	教えている子どものことで、子どもが通う学校と連携が必要になることもあるかと思いますが、学校と連携するときに、困った事はありますか。 【該当あり:どのようなことで困りましたか。】	学校との連携について、日本語教室スタッフが思う課題の把握	
2-5	教えている子どものことで、学校以外の関係機関と連携することもあるかと思いますが、連携したことのある機関を教えてください。 【該当あり:どのようなことについて連携しましたか。】	関係機関との連携について、過去に連携したことがある機関の把握	
2-6	2-6の関係機関との連携について、困った事や気づいたことはありますか。	関係機関との連携について、日本語教室スタッフが思う課題の把握	
2-7	子ども日本語教室で子どもと関わる中で、学習面以外について困った事はありますか。	日本語教室スタッフが抱えている学習面以外に関する課題の把握 (保護者に対する支援等)	
2-8	今ある取組や制度の中で、日々活動していて充実させた方が良くと思う支援等がありますか。	現状の支援体制について、日本語教室スタッフが思う充実させるべき取組・制度の把握	
2-9	外国人の子どもや保護者に対する支援について、あったら良いと思う取組や制度等がありますか。	新たな支援制度についてアイデアをもらう	
2-10	多文化共生についてのご意見を聞かせてください。	自由意見	

西東京市における多文化共生推進指針策定に向けたヒアリング調査

③日本語適応指導員

問	項目	設問意図	回答欄
3-1	今まで適応指導で関わった児童・生徒や、現状関わりのある児童・生徒について、指導に入る際準備したことや気を付けたことはありますか。	適応指導を行う際、準備することや配慮する事項について把握	
3-2	適応指導で関わる児童・生徒について、外国人ならではの課題はありますか。 【該当あり:その場合、どのように対応していますか。】	適応指導対象の児童・生徒について、外国人特有の課題の把握	
3-3	教えている児童・生徒のことで、子どもが通う学校と連携が必要になることもあるかと思いますが、学校と連携するときに、困った事がありますか。 【該当あり:どのようなことで困りましたか。また、どのように対応していますか。】	学校との連携について、適応指導員が思う課題の把握	
3-4	教えている児童・生徒のことで、市の教育指導課と連携が必要になることもあるかと思いますが、教育指導課と連携するときに、困った事がありますか。 【該当あり:どのようなことで困りましたか。また、どのように対応していますか。】	教育指導課との連携について、適応指導員が思う課題の把握	
3-5	小学校で適応指導を受けていた児童が卒業し、中学校でも適応指導を受ける場合や、適応指導を受けている児童・生徒が転校する場合の引継ぎを行ったことはありますか。 【該当あり:困ったことはありましたか。また、どのように対応していますか。】 (例:これまでの児童・生徒の状況の引継ぎ、学校側の対応)	適応指導における小学校から中学校への引継ぎについて課題の把握	
3-6	西東京市では、適応指導や外国語通訳ボランティアを派遣する事業など、外国人市民を支援する制度を設けています。このような支援制度について、支援を必要とする方へ行き届いていると思いますか。	支援制度について、周知が十分であるか把握	
3-7	外国人の児童・生徒に対する支援について、あったら良いと思う取組や制度等がありますか。	新たな支援体制についてアイデアをもらう	
3-8	多文化共生についてのご意見を聞かせてください。	自由意見	

西東京市における多文化共生推進指針策定に向けたヒアリング調査

④市内小学校及び中学校の副校長

問	項目	設問意図	回答欄
4-1	外国人の児童・生徒が入学する際の面談では、どのようなことを準備していますか。 (例:日本語レベルの把握、食べ物についての配慮)	学校側で児童・生徒の入学前に準備していることについて把握	
4-2	外国人の児童・生徒が入学を希望した際、受け入れが難しいと判断したことはありますか。 【該当あり:何を基準に判断するのか。また、入学までの期間に児童・生徒に準備してもらうことは何か。】	外国人の児童・生徒が入学する際の実態の把握	
4-3	通っている児童・生徒について、関係機関との連携が必要となった場合、連携する関係機関や対応方法があるかと思いますが、外国人の児童・生徒の対応について、外国人の場合のみ連携する関係機関や対応方法はありますか。	外国人の生徒における関係機関との連携について、外国人ならではの連携先と対応方法の把握	
4-4	外国人の児童・生徒の保護者について、関係機関との連携が必要となった場合、外国人の場合のみ連携する関係機関や対応方法はありますか。	外国人の生徒の保護者における関係機関との連携について、日本人と異なる対応方法の把握	
4-5	西東京市では、外国人の方が学校での面談や行政機関の手続きを行う際にも利用できる外国語通訳ボランティアを派遣する事業や、日本語を話せないため学校生活に適應することが困難な児童・生徒を対象に実施する適應指導を行っています。これらの支援制度について、知っていますか。また、使ったことはありますか。 【知っている・使ったことがある場合:学校や支援を必要とする方へ行き届いていると思いますか。】	支援制度について、周知が十分であるか把握	
4-6	適應指導の実施が決定した際、担任の先生への情報共有や調整をどのように行っていますか。	適應指導における学校の体制について把握	
4-7	主に特別支援学級で活用されている、教科書などを音声化しタブレット端末などで再生することができるデイジー教科書について、視覚と聴覚の両方から情報を得ることができ、外国人の児童・生徒の学習にも有効とされているため、適應指導の中でデイジー教科書を活用しています。適應指導を受けていない外国人の児童・生徒に対し、デイジー教科書を活用していますか。 (活用していない学校)活用してみようという考えはありますか。	デイジー教科書の活用について、現状の把握	

4-8	4-7に挙げたような支援制度の情報について、副校長先生以外の先生に行き届いていると思いますか。 【行き届いていない場合:支援制度を周知する方法として有効だと思うものはありますか。】	支援制度について、先生への周知が十分であるか把握	
4-9	西東京市の子どもへの日本語教育(適応指導やボランティアが運営している子ども日本語教室など)について、考えていることや感じていることをお聞かせください。	学校側から見た適応指導や日本語教室について感じていることの把握	
4-10	「やさしい日本語」とは外国人などにもわかるように配慮して、伝わりやすくした日本語のことです。 「やさしい日本語」を知っていますか。	やさしい日本語の認知度について把握	
4-11	学校からのおたより等を「やさしい日本語」にする取り組みを行っている自治体もあります。外国人に伝わりやすいことはもちろん、保護者がおたよりを見てくれない児童も自分で読むことができ、土曜授業の欠席や忘れ物が減ったという声や、忙しい日本人の保護者に喜ばれたということもあるようです。「やさしい日本語」の取組について、導入をしていますか。 (導入していない学校)導入してみようという考えはありますか。	やさしい日本語の取り組みについて、導入状況の把握	
4-12	【中学校】都立高校では、「在京外国人生徒対象の入試」を実施する等、日本人とは異なる入試方法等がありますが、そういった制度について、把握していますか。 【把握できていない:把握ができていないことについて、どのような理由がありますか。】	中学校での外国人の生徒の課題の把握	
4-13	多文化共生についてのご意見を聞かせてください。	自由意見	